

令和3年度 学力向上プラン

学校名 中央区立日本橋中学校

学校の教育目標

- | | |
|-------------|------------------|
| ○考える人になろう | ○心ゆたかな人になろう |
| ○たくましい人になろう | ○みんなのためにつくす人になろう |

学校経営方針（確かな学力向上にかかわる内容）

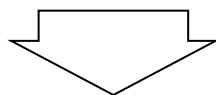
- | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 各教科の年間指導計画と評価計画の充実を図るとともに、適正な教育課程を実施する。 国語・数学・英語科で少人数、習熟度別指導等、個に応じた指導を充実させる。 授業規律を徹底し、落ち着いた環境で授業を進め、基礎基本の確実な定着を図る。 校内研究、授業観察、個々の教員の教材研究で、毎時間の授業の質を向上させる。 各種検定の取組やサブリノートの活用を通し、自学自習の意識を向上させ、学習習慣の確立を図る。 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

令和3年度「学習力サポートテスト」「全国学力・学習状況調査」「東京都生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」の結果分析や、日常の学習の様子等から見られる課題及び要因

	児童・生徒の学力の課題	主な要因
国語	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの内容を聞き取る問題では、内容を整理しながら聞き取ることができない生徒が一定数いる。 漢字の書き取りの定着に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞くことに特化した学習の機会が少なかった。 漢字について練習的な活動が十分ではなかった。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 方程式や関数の領域に関して若干苦手とする傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 方程式の仕組みに関する理解不足。 関数を活用した問題演習が足りなかった。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的分野において、具体的な歴史的事象についての知識の定着が不十分である。 地理的事象について、地球儀や地形図と関連付けて理解することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項について反復練習する機会が少なかった。 授業中に地球儀や地形図を活用する場面が少なかった。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 自然事象についての知識が不足している。 観察・実験の技能について理解をし、実験の手順や注意事項を説明すること課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 知識が定着するように、反復練習を行う機会が少なかった。 実験を行う機会が少なく、実験方法を伝える機会が少なかった。
英語	<ul style="list-style-type: none"> 文法や語句に関して定着が不十分な生徒が一部いる。 習得した文、語句を用いて、まとまりのある文章を書くこと、即興で話すことに課題がある。 初見の文章を理解することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 知識の定着のための反復練習を行う機会が少なかった。 習得した事項を用いて表現に繋げる活動が不足していた。 多岐にわたる内容を扱った英文を読む機会が不足していた。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度東京都生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の結果から、男子は握力、女子は上体起こしにおいて課題が見られた。また計測項目の体力合計点では、全学年で東京都平均を上回ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍における運動機会の減少、部活動の活動自粛により、運動する時間が減少した。 校舎の修繕により、運動をする場が制限され、少ない状況にある。

学力向上に向けた視点	年度末までの目標及び指標
①学力基盤	<p>目標「基礎基本を確実に定着させる。」 指標「年度末に実施する保護者学校評価アンケートで肯定的評価が前年度を越える。生徒学校評価アンケートで肯定的評価が85%以上となる。」</p> <p>令和2年度保護者学校評価アンケート ・「学校は個に応じた指導を徹底し、生徒に基礎学力が身に付くように教えている。」 よくあてはまる43.2% あてはまる43.6% 計86.8% 前年度と同等を目指す。(目標85%)</p> <p>令和2年度生徒学校評価アンケート ・「授業の進み方はちょうどよいと思いますか。」 ちょうどよい48.0% まあまあよい38.8% 計86.8% 前年度と同等を目指す。(目標85%)</p> <p>・放課後や長期休業中に区中学校講師や学習指導サポーターを活用し、学習力サポートテストの復習プリントや東京ベーシックドリルを活用した補習教室を行う。</p>
②授業改善	<p>目標「授業規律を徹底し、落ち着いた環境で授業を進める。」 指標「年度末に実施する保護者学校評価アンケートで肯定的評価が前年度を越える。生徒学校評価アンケートで肯定的評価が90%以上となる。」</p> <p>令和2年度保護者学校評価アンケート ・「授業規律を徹底し、落ち着いた環境で授業を進めているか。」 よくあてはまる26.6% あてはまる57.7% 計84.3% 前年度を上回るようにする。(目標85%)</p> <p>・「学校は学習内容がわかりやすく工夫された授業をしている。」 よくあてはまる29.4% あてはまる55.5% 計84.9% 前年度を上回るようにする。(目標85%)</p> <p>令和2年度生徒学校評価アンケート ・「授業規律を守り、落ち着いて授業を受けることができますか。」 よくできた74.5% まあまあできた23.5% 計98.0% 90%以上を継続する。</p>
③教員の指導力	<p>目標「分かった」や「できた」の実感をもたせる授業を行う。」 指標「年度末に実施する保護者学校評価アンケートおよび生徒学校評価アンケートで肯定的評価が前年度を越える。」</p> <p>令和2年度保護者学校評価アンケート ・「分かった」や「できた」の実感をもたせる授業を提供しているか。」 よくあてはまる16.2% あてはまる51.1% 計67.3% 前年度を上回るようにする。(目標80%)</p> <p>・「学校は通知表等を通して生徒の学力を観点別評価により、適切に評価している。」 よくあてはまる10.2% あてはまる41.1% 計51.3% 前年度を上回るようにする。(目標80%)</p> <p>令和2年度生徒学校評価アンケート ・「授業の内容を理解し、達成感がありますか。」 よくできた28.6% まあまああった58.2% 計86.8% 前年度と同等を目指す。(目標85%)</p>

学力向上に向けた視点	年度末までの目標及び指標
④家庭との連携	<p>目標「自学・自習の学習習慣が身に付くように指導する。」 指標「年度末に実施する保護者学校評価アンケートおよび生徒学校評価アンケートで肯定的評価が前年度を越える。」</p> <p>令和2年度保護者学校評価アンケート ・「サブリノートや各種検定の取組で、自学・自習の学習習慣が身に付く指導をしているか。」 よくあてはまる23.2% あてはまる49.1% 計72.3% 前年度を上回るようにする。(目標80%)</p> <p>・「生活と学習のサブリノート」を活用し、学校と家庭の双方向の情報交換を通して、学習・生活状況の把握を行い、指導に生かしているか。」 よくあてはまる25.9% あてはまる52.6% 計78.5% 前年度を上回るようにする。(目標80%)</p> <p>令和2年度生徒学校評価アンケート ・「サブリノートを活用し、毎日の復習など家庭学習の習慣を身に付けることができていますか。」 しっかり身に付いている31.6% 身に付いている40.8% 計72.4% 前年度を上回るようにする。(目標80%)</p>
⑤体力向上	<p>目標「運動意欲を高め、生徒が生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現できる資質・能力を身につけられる指導をする。」</p> <p>指標①「年度末に実施する保護者学校評価アンケートおよび生徒学校評価アンケートで肯定的評価が前年度を超える。」 令和2年度保護者学校評価アンケート ・「学校は生徒の健康・体力の増進に努めている。」 十分に達している33.7% 達成している52.4% 計86.1% 前年度を上回るようにする。(目標90%以上)</p> <p>指標②「今年度の体力・運動能力テストで東京都の平均値を越える項目を増やす。」 ・「握力」「上体起こし」について、東京都の平均値を越える。 ・「反復横跳」「ハンドボール投げ」について、東京都の平均値とほぼ等しくなるようにする。</p>



【目標達成のための具体的な取組内容】

①学力基盤	
取組Ⅰ	各教科で指導と評価の一体化を目指した指導計画・評価計画を作成する。 その中で ①オリンピック・パラリンピック教育 ②表現力の育成 ③他教科等 に関わりのある学習内容を明確にする。 夏季休業中、冬季休業中に、前学期の観点別評価を参考に、生徒個々の学力に応じた指導ができるように計画、準備を行い、新学期から実践する。
取組Ⅱ	生徒が授業で身に付けた表現力を活用する場面を授業及び行事や学年・学級の活動に意図的に設定し、言語活動の充実を図る。
取組Ⅲ	生徒全員が英語、漢字、数学検定へ挑戦する場を設定し、受検者全員が合格できるように、検定前に放課後などを利用した補習を行う。

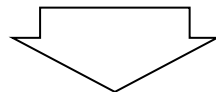
②授業改善	
取組Ⅰ	①交流が活発に行われる授業 ②「できた」「分かった」を実感させる授業 ③社会や生活に広がる授業 を目指す。
取組Ⅱ	「主体的に取り組み、考えを深め、表現する生徒の育成～問題解決型・言語活動の充実を通して～」を研究主題に校内研究を行う。特にSDG'sの教育視点からの教科横断的な授業の実践を行う。
取組Ⅲ	夏季休業中、冬季休業中に、前学期の観点別評価を参考に、各教科で授業の振り返りを行い、新学期からわかりやすく工夫された授業となるように改善する。

③教員の指導力	
取組Ⅰ	個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、生徒の興味・関心等に応じた課題学習、補足的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図る。
取組Ⅱ	生徒に信頼される授業力を身につけるために、ICT機器を活用し、生徒自身が興味関心をもつ教材・題材の開発、社会や生活に繋がり、広がる授業を実践する。
取組Ⅲ	生徒の反応や学習状況に応じながら計画に沿って授業を実践する力を高めていく。(発問や指示・板書の工夫、教材・教具の活用等) 夏季休業中、冬季休業中に、前学期の観点別評価を参考に、各教科で授業の振り返りを行い、新学期から「分かった」「できた」と実感できる授業となるように改善する。

【目標達成のための具体的な取組内容】

④家庭との連携	
取組Ⅰ	「生活と学習のサブノート」を活用し、各生徒の家庭学習の状況を把握するとともに、保護者と連携を図り、家庭学習の習慣化を目指させ、自学・自習の能力を育成する。毎日の記入と提出を生徒に促し、三者面談でサブノートの記録などをもとに家庭学習について話をし、定着を促す。
取組Ⅱ	携帯電話、スマートフォン、タブレット等の使用について家庭でルールを決め、食事や睡眠時間など基本的な生活習慣を確立させる。
取組Ⅲ	定期考査に向けた学習計画表、考査後に家庭向けに配布する学習の記録をもとに、三者面談などの機会を利用し、家庭と連携した自学・自習の指導を行う。

⑤体力向上	
取組Ⅰ	生徒が自ら体を動かしたくなるような企画や授業を行い、楽しみながら継続して体を動かせるようにする。 ①ダブルダッチ体験(筋力、握力、平衡性など) ②ICTの活用(自分の動きの確認、映像をもとに教え合うなど)
取組Ⅱ	毎時間の授業でコーディネーショントレーニングを取り入れる。体力テストを実施し、生徒一人一人が自身の健康や体力を把握するとともに、健康の保持増進するための運動を自ら実施できるようにする。
取組Ⅲ	保健体育の授業に外部講師を招へいし、専門的な指導を受けることで、生徒の学習意欲の向上や安全に配慮した指導を行う。



【取組結果の検証】

学力向上に向けた視点	取組の成果	取組の課題
① 学力基盤	本年度学校評価アンケートの「日本橋中学校では、個に応じた指導やタブレットの活用を通して、基礎的・基本的な学力を身に付けさせていますか。」(生徒用「身に付いていますか」)という問いに対して、保護者は67.1%、生徒は89.1%が肯定的な回答をした。保護者の数値が目標に届かなかつたものの、生徒の数値は目標を達成することができた。	タブレットPCが全校生徒に配布され、その活用の様子を保護者に周知することに課題がある。学校の取組を積極的に周知していく。

【取組結果の検証】

学力向上に向けた視点	取組の成果	取組の課題
② 授業改善	<p>保護者アンケート「学校は学習内容が分かりやすく工夫された授業をしている。」に対する肯定的な回答は69.5%、生徒アンケート「日本橋中学校では、『わかった』『できた』の楽しさを感じながら、主体的に学び、問題を解決する力が身に付いていますか。」に対する肯定的な回答は91.6%だった。</p>	<p>保護者アンケートの回答のうち「よく分からない」が19.3%だった。公開授業等が行われなかったこともあり、保護者に対して授業の実態を周知することが課題である。</p>
③ 教員の指導力	<p>②にもある生徒アンケート「日本橋中学校では、『わかった』『できた』の楽しさを感じながら、主体的に学び、問題を解決する力が身に付いていますか。」に対する肯定的な回答のほか、保護者アンケート「学校は学習や部活動、行事において生徒の努力を認めたり励ましたりして、温かく接している。」に対する肯定的な回答が86.3%だった。学習指導及び生活指導等において、教員の指導力に対する一定の評価が認められる。</p>	<p>保護者アンケート「学校は生徒の問題や悩み、トラブルなどを見逃さずに相談にのったり指導したりしている。」に対する肯定的な回答は71.5%で、他の項目と比較するとやや低かった。より生徒や保護者に寄り添った支援・指導をすることが課題である。</p>

【取組結果の検証】

学力向上に向けた視点	取組の成果	取組の課題
④ 家庭との連携	<p>「学校は保護者にとって連絡や相談がしやすく、適切に対応している。」に対する肯定的な回答は88.3%であり、その他の家庭との連携に関する質問項目も、肯定的な回答が8割を超えている。</p>	<p>サプリノートを家庭との連携の手段とするかなど、活用方法を明確にすることが課題である。</p>
⑤ 体力向上	<p>保護者アンケート「学校は生徒の健康・体力の増進に努めている。」に対する肯定的な回答は86.1%で目標の数値(90%)には到達しなかった。東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査において様々な項目(ハンドボール投げ、50m走等)で上昇傾向が見られた。</p>	<p>コロナ禍における活動の制限、校庭環境等の条件下で、運動能力の向上を図ることが課題である。</p> <p>東京都の平均に等しくなるようにする。 ・上体起こし・握力</p> <p>東京都の平均をさらに大きく上回るようにする。</p> <p>・ハンドボール投げ・50m走</p>